

## 県の単独事業

# 「ハートフル相談員」制度とは

— いじめ・不登校の解消を目指して —

新潟県の単独事業として、四、二〇〇万円の予算をかけて九八年六月から「ハートフル相談員」の制度が発足し今年度は二〇人が一八市町村、二〇中学校に配置されました。いじめ・不登校、問題行動等の解消を目指す施策の一環です。

この相談員は「多忙をきわめる学級担任・養護教員をたすけ、日常的にいろいろの悩みを抱える子どもたちの相談にのってあげる役目を担う」ために生まれました（本誌五四号「新潟県教育委員会にきく」29頁）。県下の中学校二五〇校に対して、

八%の配置率ですが、来年度、再来年度とそれぞれ二〇校ずつ増やして二〇〇〇年度には二四%までいくのが当初計画です。しかし、県の財政事情によっては足踏みも懸念されます。

埼玉は、県の単独事業ですべての中学校に「さわやか相談員」を九六年度から配置しており、二〇〇〇年度に完了します。不登校率がきわめて高い本県では、埼玉の水準にできるだけ近づけるのが筋でしょう。今年度の配置校は表の通りです。生徒数は湯沢中二九七人が最小で五

十嵐中八八七人が最大、五百人前後の規模の学校が多く、長岡市とその周辺にないのが注目されます。一一二市町村に対し、配置率一六%の一八市町村でした。

相談員の条件は「二五歳以上六五歳以下で」「学校教育に理解があり、中学生の悩みについて相談に応じることの出来る知識や経験を有する」人です。今年度は公募によって一三人の女性と七人の男性が採用されました。男性は教職を退いたばかりの人が多く、女性は産休の講師の経験者など比較的若い人が多いようです。

ある相談室を訪ねて  
この制度が発足して半年を経た十二月のある午後、相談員の一人Aさんを訪ねました。廊下からも庭からも入られるように作られた普通教室の四分の一くらいの部屋が相談室でした。隣には、保健室と適応指導

98年度「ハートフル相談員」  
配置校一覧  
(生徒数は5月1日現在)

市町村・学校	(生徒数)
上越市 春日中	(578)
三条市 第三中	(487)
柏崎市 鏡が沖中	(571)
十日町市 南中	(436)
堀之内町 堀之内中	(425)
湯沢町 湯沢中	(297)
大和町 大和中	(668)
新潟市 石山中	(759)
新潟市 坂井輪中	(787)
新潟市 五十嵐中	(887)
新発田市 本丸中	(822)
村上市 村上中	(374)
燕市 燕北中	(369)
笹神村 笹神中	(377)
中条町 中条中	(591)
弥彦村 弥彦中	(328)
巻町 巻東中	(472)
朝日村 朝日中	(474)
両津市 南中	(320)
佐和田町 佐和田中	(321)
	計10,343人

学級があります。

—— 具体的にどのような日々ですか。

月曜から金曜まで五日間、この部屋にいます。一日の勤務は六時間で、相談者が来るのを待つのが私達の立場です。でも相談ではなく授業に不適応を起こし、教室にいられない生徒も来ます。六月頃は校舎内を徘徊していたグループも、ここによく来て勉強もするようになりました。特設の電話がこの部屋にあり、電話相談も出来ます。実際には面談が主です。昨日も不登校のことで保護

者が見えました。

—— 生徒の相談はどんなことが主ですか。

人間関係の悩みが多く、一、二年生の女子にそれが顕著です。部活動における人間関係の悩みもよくききます。学級担任とうまくいかない悩みもかなりあります。私が教員でないから安心して話せるのでしよう。「ハートフル」の大切な役割のひとつだと思います。解決は、難しいです。

—— 抱負や問題点はありますか。家庭訪問は当初はやらないのが原

則でしたが、必要に迫られていくつか続けています。教員ではないから不登校の子どもが接しやすいようです。

問題と思うのは、他の教員との交流が少なく相談員の仕事は、理解されているかどうか不安です。

この部屋の前まで来て、たじろいで入れない生徒が、もつと気軽に相談できるようにするのが課題です。

〈付記〉

九月一日から、本県の中学校に文部省の「心の教室相談員」が配置されました。これまでの国や県によるカウンセラー事業が実施されていない計百八十六校に常駐することになって、県内のほとんどの中学校に、いじめや不登校の解消を目指す事業が行き届くことになったと、いわれま

す(朝日新聞9月7日付)。

(吉田 武雄)